

# 浜田地域協議会と議会との意見交換会記録

令和3年6月7日（月）

13時35分～15時3分

浜田市役所 全員協議会室

【出席議員】三浦議員、柳楽議員、野藤議員、上野議員、道下議員、川神議長

---

次第

1 開会

2 議長団挨拶

3 自己紹介

4 意見交換

テーマ：①地域で力を入れて取り組まれていること

②地域の関心ごと（困りごと）

5 地域協議会副会長終わりの挨拶

6 閉会

【議事の経過】

[ 13時 35分 開議 ]

1. 開会

野藤議員

本日はお忙しい中お集まりいただき、浜田市議会との意見交換会に時間をいただき誠に感謝する。

ただいまから浜田地域協議会と議会との意見交換会を開会する。

はじめに1点お知らせがある。今日の意見交換会の記録及びはまだ議会だより等への掲載のため写真を撮ることにご了承いただきたい。

2. 議長団挨拶

野藤議員

議長の川神からご挨拶申し上げます。

川神議長

ただいま紹介を賜った浜田市議会の川神である。今日は大変貴重な時間を浜田地域協議会の皆との意見交換会に充てていただき感謝する。まずは平素から、地域協議会からの貴重な意見は議会としてしっかり受けとめて取り扱う。日ごろの活動に感謝申し上げます。

今まで地域の方々には、議会報告会や地域井戸端会という機会を設けて話をさせてもらってきたが、ご存じのようにコロナ禍においてさまざまな地域活動に制約があり、課題がある。我々も地域に出かけられなかったことを皆にお詫び申し上げたい。

そういう中、議会広報広聴委員会から提案があり、ぜひ各地の地域協議会と意見交換会をさせていただき、現状をしっかりと把握したいということで、本日の意見交換会に至った。

全国的に議会の要不要議論もあるが、2011年に議会基本条例というまさに議会の憲法をつくった。この中には我々は何をすべきか明確に書いて市民にお示した。特に広聴を前面に打ち出して今まで活動してきた。議会も通年会期を採用している。またタブレットに情報を入れて、紙はほとんど使ってないといった改革もした。

特に大きな改革だったのは、我々が議員間で討議をしながらいろいろな問題を提案することもしっかりやっという。監視もするが提案もする。それによって皆との距離を縮めていきたいと思っている。活動内容を皆にご理解いただけていない実感を持っている。今日は皆の貴重なご意見を拝聴し、受けとめ、それを浜田のためにどのように実現させるのか。皆に示していきたいと思っているので、

どうぞよろしく願います。

### 3. 自己紹介

野藤議員

ここで議員の自己紹介をさせていただく。

《 議員の自己紹介 》

野藤議員

続いて地域協議会委員からも自己紹介をいただきたい。

《 地域協議会委員の自己紹介 》

### 4. 意見交換

委員

では早速意見交換に移りたい。今回の意見交換では、地域で力を入れて取り組まれていること、地域の関心事、この二つのテーマで意見交換をしたい。皆に事前にお考えいただいていると聞いているので、それぞれご発言いただき、議員からも質問してみたい。

浜田市ではふるさと寄附で通学路に防犯カメラをつけた。その管理は市がしているのか。

野藤議員

町内がしていたり、いろいろだと思う。大学の周りはまた別。

委員

浜田の警察署から、あまり防犯カメラがない。大田の次に浜田が少ないから、ぜひ防犯カメラをつけてくれという要望があり、我々は熱田長浜地区でアンケートを取ったら、11基くらい要望があった。企業から10基もらって取りつけて、市が2基つけて、結果的に14基ある。この2基を市が負担されていると思うが、あとの10基は町内で負担している。月500円としても。このような負担、管理は市がしてほしい。

浜田海洋少年団を結成していて、全町内が負担金を出している。保安協会浜田支部も出しているが、これが50年以上続いている。海洋少年団が持っていたボート3隻はもう30年以上使っていない。この処理費用がすごく高額になるので、何かよい方法はないか。粉碎までは我々がしても、その後の処理費用が相当かかる。これを何とかよい方法で処分に協力してもらえないか。今度海岸線に道路ができるからボートを処分してくれと言われていて困っている。

野藤議員

いただいたご意見はメモしている。お答えできるものには後でお答えしたい。

ほかにご意見をお持ちの方は。

委員

生湯は高齢化率がすごく高い地域である。生湯4町内だけで200超

の世帯を占める。高齢者サロンを20数年ずっと続けている。毎月第1火曜日に20人くらいの女性の高齢者が集まり、情報交換をしたり、軽体操や脳トレをして楽しんでいる。コロナ禍で少し控えた時期もあったが、大体順調にやっている。月2回は100歳体操を続けているが、これは15人くらい集まる。今年から1人男性が入って喜んでいるが、女性が主になって取り組んでいる。

あとは町内から助成金をいただいて高齢者クラブに7万、こども会に5万、スポーツ部会に3万出してもらっている。各部が活動している。これが地域で特に力を入れて取り組んでいるところかと思う。

新年会、盆踊り、敬老会などの年間行事は町内役員が責任を持って計画を立ててやっているが、会場が狭いのでコロナの関係で去年も今年もなかった。年間行事を大切にしながら地域の絆が切らさないような取り組みをやっている。

委員

特に美川では人口増加の活動に力を入れている。空き家を有効利用したいということで、空き家について地域の心配事、関心事、困り事などの話をしたい。

私が中学生のころは美川でもお店が12軒あった。しかし去年9月に山口商店がやめられたので、ゼロになった。朝市でもよいから希望すると言われる方がいる。今年8月から月2回、第1・第3土曜にやろうと計画している。何とか成功させたい。

野藤議員

朝市をやるに当たっての課題はあるか。

委員

やるには予算がいる。まず広報費。5月中ごろからやろうと話が出たので今から計画していくのだが、助成金・補助金をある程度利用してやりたい。

野藤議員

ほかの委員から何かないか。

委員

長沢のまちづくり委員会をつくっている。町内会や関係団体に助成金を出し、それが大体300万円くらい。小さい町内は助成金だけではやっていけない。環境問題としてごみステーションを随分つけた。各町内の掲示板をつくった。信号機のない横断歩道に横断旗を多く設置して安全に努めている。いずれにせよハード面は行き渡っているし、町内の要望には応じてきたらと思う。今後どうするかが課題である。協働のまちづくり活動に力を入れていかねばと考えている。

野藤議員

住民参加についての課題はないか。

委員

具体的には聞いてないが、上がってくれば委員会の中で取り上げていく。今度はソフト面。人口が非常に減少し、高齢化している。また年金の受給年齢が引き下げられたことに伴って、60歳で定年になって町内会に入ってくれるだろうと思ったら、まだ年金が出ないから町内活動には加われないということがあり、町内会の役員をやるものがない。人口減少をどうやってとめるか、どう増やすか。そういう話し合いをしようではないかという声が上がってきている。

しかし人口問題をどうするかといっても、各町内でやれることがあるのだろうか。今後どうするかを考えていこうということになっている。いずれにせよ人口減少について長沢町だけでできるものはないか議論してみようかと。

野藤議員

次の委員、何かあればよろしく願います。地域の課題や、困りごと、力を入れて取り組んでいることがあれば。

委員

朝日町は800メートルの商店街と共存しているため、商店街と自治会とが共存共栄であり、商店街の会長も私がしている。青年会というのがあり、この人たちが作業はする。

うちの自治会でやっているのは恵比須祭が春と秋にあり、それを一緒にやっている。また、毎年約5、6人の方が亡くなるので、盆には供養をする。ほかには溝掃除が自治会の仕事である。自宅前は皆やるが、公共の誰もやらない場所は誰がしてくれるのかという問題がある。

もう一つ、朝日町は松原校区だが、現状は新生が5、6人、悪ければゼロのときもある。琵琶町のベルファームの子どもも一緒になって朝日町子ども会になっているが、ついに今回松原子ども会をやめることになった。今年から朝日町独自の子ども会ということで。朝日町は石見小学校、松原小学校、三階小学校のどれにも近いので、ばらばらに行っている方がいる。今回は校区関係なく子どもを集めて何かやったらどうかという、朝日町子ども会を結成したらどうか、というのが新しい動きである。

朝日町は約800メートル直線だが、街路灯が消えたら弥栄村より真っ暗になる。何とか夜に灯をつけたいので、街路灯は商店街と自治会とが一緒になって、協賛でやった。何か質問があれば答える。

野藤議員

前向きな意見をいただいた。

委員

せんだって周布地区でチームSOS、チーム周布おたすけステー

ションを、浜田市役所の方々のご尽力によって立ち上げることができた。それまでは西川病院の先生方や、弁護士さんなどにいろいろ勉強させてもらった中で立ち上げた。

認知症にかかった方、かかりそうな方々が、地域で安心して住める、住みよい、住みやすいことをしてあげたい。同時に買い物難民の方がおられる。当然病院にも行けない。チームSOSのメンバーは今32名だったと思うが、そのメンバーが困っている方々をおたすけしている。

我々が考えないといけないのが、人数を増やしてそういうことが容易にできる体制づくりをつくっていききたい。まだ模索しながら進めている。

もう一つ、困りごとにはいろいろあるが、特に力を入れているのが、小学校の登下校の安全についてである。5年越しで私どもの地区では朝の7時から8時まで上下通行動めをつくらせてもらった。その地域を歩いて登下校される方は非常に多い。私どもの周布1町内だけで60名の児童がいる。したがって安全について重点的にやらせてもらっている。

もう一つは道路標識、字が消えて薄くなっている。縁石付近の黄色も何も色がさびている。子どもらが通るのに非常に危ないので何とかしてほしいということで、小学校の先生に申し入れしておいた。

あと、何とかSOSの家というのがあるが、現在その機能を果たしているだろうかというところが出ている。事業をやっている方は日中あいているから問題ないが。これは議員に言うのが筋なのか市に言うのが筋なのかかわからないが、再度見直していただくと同時に、この家だと子どもが見てもはっきりわかるよう市の政策に訴えていただきたい。

野藤議員  
委員

何か課題はあるか。

メンバーの人数を増やしていきたい。それと同時に、車など運搬できるものの用意もお願いしたい。

委員

長浜地域だが、公民館がまちづくりセンターに変わったことをきっかけにして、地域のまちづくり推進委員会や地区社協、自治会との連携強化。拠点づくりも前から言われていたので、自治会、地区社協が事務をするスペースを確保して、まちづくり連絡会を新たに設立した。これからいろいろなことがスタートするので何とも言え

ないが、お互いに密に連絡しながらやっていこうということで、自主防災組織の立ち上げ、地域の福祉計画見直しをこれから進めていこうと話が進んでいる。

関心事は、熱田地区の臨港道路の建設が来年度春くらいから始まるということで、この冬に説明会があったのだが、計画自体は大分前からあったらしいが、地域住民にとっては突然降って湧いた話のように受け取った方が多かった。景観保全などをもっと考えてほしいという意見をたくさん聞いている。丁寧な説明の上で計画が進められたらよかったという声も聞いている。

野藤議員

臨港道路の説明については資料の回覧などもされていたとは思いますが、まだ説明不足だという意見が多いということか。

委員

はい。

野藤議員

了解した。次の方。

委員

大麻まちづくりセンターを中心に毎週月曜13時半から100歳体操、12、13名は必ず。もう3、4年くらい続いている。グランドゴルフなどの軽スポーツも結構やっている。夏になると海の缶拾い。広島など遠方からの客がごみを放置しているので掃除している。

山陰道ができて便利にはなったが、うちの町内15軒くらいあったのが立ち退きになり、下に残って住んでいるのが5軒。草刈りも1軒につき複数人出てやったが、最後までなかなかできない。それが一番困っている。田もたくさん荒れ地になっており、それを放置するとイノシシやクマが出て危険なので、そこも草刈りしないといけない。ヒマワリかコスモスを植えて荒れ地をどうにしましょうという話になっているのだが、大麻にはやかましい地主が3名くらいいて、話がなかなか前に進まない。よい知恵があれば教えてほしい。

野藤議員

15軒あった住居が立ち退きで5軒くらいになり、地域活動が大変だというのが一番の課題だと。

委員

空き家になっている。それも課題。

野藤議員

はい。

委員

地域で力を入れて取り組んでいるのは、野良猫対策として何年から前から町内会で地域猫を取る、しないと助成が受けられないということで。今までは5千円の補助で雄は1万3千円、雌は2万円。5千円の補助で、町内会で4、5匹捕まえて避妊手術をした。

本年4月から町内会で取り組まれる野良猫対策事業で、そういった

手術費用は全額市が負担ということが発表され、早速1匹やったのだが、そのときに、町内会がないところはどうするのか。まちづくり推進協議会という町内会の上にあるようなものがあればよいが、ないところに対しては。例えば地域ボランティアでもよいし商店街でもよいのだが、その辺を少し修正していただきたい。町内会で組織を申請していただいたら町内会の通帳に振り込むということなのだが、それが無い地域はどうするのか。せつかくよい事業なので。野良猫は放置すると年間20匹も30匹も増えると聞く。町内会やそれに類するところがあればどんどん推進していくべき。

それともう一つ、この2年間コロナ禍で行政連絡員会議がなかったのだが、市報の配り方が非常に曖昧なところがある。私の町内会はアパートの人もアパートの町内会に入っていない人も、アパートの所有者に町内会費を払ってもらって全世帯に市報を配るのだが、ある町内会は昔から、町内会費をもらえないアパートの住民には配らない。当たり前のようにそれが昔から申し送られている。ではごみのカレンダーはどうするのか。ハザードマップはどうするのか。しかし行政連絡員のカウントには、住民票がある世帯掛ける幾ら、町内会に対してはまちづくり総合交付金を払っているので、その辺は強く、全世帯に配ってくれということはお願ひして、行政連絡委員にきちんとお願ひしてほしい。

銀天街商店街のほうでコンクリート不法投棄の問題とごみステーションの移設、ごみの出し方が某市民からの強い苦情が、市へも、当商店街、当町内会にも来ているが、非常にSNS等で人の名前をそのまま言って、警察からちょっと聞かれたら事情聴取だという表現をされて、非常に困っている。こういった事例に対して、浜田市全体で弁護士を含めて対策室、法律に詳しい部門をぜひつくっていただきたい。これは切なるお願ひである。被害を受けた人間が警察に届けたり、弁護士に相談したりというよりも、そういう人に対して、市役所のどこに行ったら法律に詳しい、または弁護士と相談しながら対処法についてアドバイスをするなど、トラブルを一元的に管理できる部署を、コンプライアンスを含めてすぐ弁護士と相談してこういう対応をしようと結論が出るような部署をつくっていただきたい。

委員

朝夕子どもの通学路を見守っている。民生委員は85歳以上、各地



区で75歳以上、町内会長と福祉委員が協力して75歳以上で独居高齢者が270名くらいいるのだが、年2回、一緒に頑張りましょうなどのメッセージを添えて訪問活動をしている。

ある地区では3年がかりで全地区の連絡網をつくって、自治会に入らないところやプライバシーの問題を気にする方がいたりして3年くらい、こまめに各班長が回って了解をもらった。それを毎年手渡しで交換している。

まちづくり組織で、若い力を活用しようということで、青年会の若者にイベントを任せる。敬老会や運動会など。複数できている。

独居高齢者のための店がないという同じ悩みを抱えている。

若者会というか、青年団立ち上げの動きが出てきていると。

団体そのものはあるのだが、イベントの会長を担うとかで下仕込みをしている。

イベントなどがだんだんと移行していると。

地域で力を入れていくことは、唐鐘は少子高齢化で老人が多い。今は高齢者クラブをつくってたくさんの方が入って活動されている。それには自治会としても力を入れてやっている。

それから、子どもの見守り。それから、地域の困り事についてだが、これは市に言ってよいのかわからないが、下府川の河口に砂がすごくたまる。唐鐘川に冬になると物すごくごみが入ってくる。唐鐘川は県の管轄だから市に言ってもだめなのだろうから意見を言うだけだが、唐鐘川の河口が波によって埋まり、川の水が腐って、夏になるとすごく臭い。これは地域の方がかなり言っている。県に言うべきだが、なかなか県もやってくれない。地域の者でごみを何度かに分けて取るのだが、ごみはまとめてエコクリーンセンターに持って行ってくれれば無料で処理してくれる。ただしごみを拾うのも危険。とても言葉にならない。下府川の河口に何年か前に公園をつくったのだが、その公園のおかげで砂がたまってごみが入ると思う。今困っているのは唐鐘川のごみ問題、下府川に砂がたまる問題。

浜田地域協議会の中でも浜田地区が、まちの数が一番多い地区で26ある。全般的に共通して言えることは、まず集会所がないまちが多い。原井幼稚園を使わせてくれとか、原井小学校を使わせてくれとか、いろいろ各まちから意見が出るのだが、原井幼稚園は集会所として使わせてもらえない。原井小は手続きを踏まないと使えないと

野藤議員  
委員

野藤議員  
委員

委員

ということで不便だという話もある。各地域に集会所を置けば、浜田まちづくりセンターに来るには遠すぎるからなかなか来れないと。まちづくりセンターが全体的に少ない。

それと、行政連絡員に聞いてみると次世代への引き継ぎがうまくできない。町内会長を若い世代に引き継ぎたいが、会合にも出てきてもらえないというのが共通課題ではなからうか。

片庭で力を入れているのは高齢者。土地が低いので浸水被害が割とある。浜田第2ダムができたおかげで川の氾濫はなくなったが、短時間に集中的に降ると浸水するということが、今後ますます出てくるのでは。そのために独居の高齢者、老夫婦世帯などへの支援。総会のときに話し合っ、誰が誰に声かけして避難していただくかなどを進めている。

個人的には、側溝に溝蓋をつけてほしい。市にもたくさんつけていただいたが、安い費用でということかコンクリートで蓋がしてある。側溝清掃をしようにもコンクリートだと壊れている、蓋があけられない、重くてあけられない、固まってしまっているなどで、業者に依頼してバキュームで吸い上げてもらう方法を取るのだが、業者に聞くと水がたまっているときでないとバキュームで吸い上げできないとのことで、側溝清掃もままならない状況である。

浜田全体では公園や施設の維持管理が放置されているのでは。海が見える丘公園のあたりでも荒れ放題のような気がする。三階山の公園も荒れ放題。せっかくいろいろなものをつくっていただくのだが、維持管理ができない。今も城山に新しく公園が整備されたが、いずれ同じような運命になるのではと心配している。

委員

今地域で力を入れていることは、私たちの地域でも高齢化が進んでいる。中でも認知症患者が増えてきている。その中でSOSを立ち上げて活動しているが、これは自費で活動している。自分たちが少しずつお金を出し合っってチラシをつくり、それを配り、公民館に貼っていただき、自分の車で相談相手のところに行くような活動をしている。皆はすごく協力してくださり、地区社協や民生委員にも全部入ってもらっている。これをもっと地域に、連合自治会全ての人に広げていって大きな輪ができればよい。できることなら浜田市全体でできればよいという夢と希望を持っている。

また心配事は、やはり高齢者のこと。市営住宅や県営住宅が8棟あ

る。その中で町内会の活動ができない棟が何棟もある。障がい者、高齢者が入っておられる。その中で誰が会長を受けるか、金銭管理を誰がするか、そういうことができない棟も多々ある。誰でもやってやると簡単に言われても町内会費持ち逃げされたらどうにもならない。そういう事案も去年あった。

市営住宅は収入が入ると家賃がすごく上がる。そこに入るのは生活保護の方や障がい者、支援が必要な方が多い。町内の掃除もできない。随分苦情も受けたが、何とか若い人を頼って頑張ろうという声かけしかできてない。そのような中、もう少し、草刈りなどのときに支援があればよいと感じている。

もう一つ登下校の問題なのだが、時間的に通行止めになったところもあるが、陸橋を渡って、協和木工の横を通って旧道の9号線に出るところに小さい川があって、その横を通るとき、雨が降ると子どもたちは傘を差してフェンスにさばって車を通す。そういう光景を何度か見て、何度か言ったのだが。一般住宅が何軒もあり、そこの方がたまに出られる。私も子どもがフェンスにさばっているところを写真に撮って出したのだが、なかなか思うように聞いてもらえず、今は諦めムード。しかし先日先生のうちで危ないと声を上げてくれそうな人がいたので、ここで少しだけ発表させてもらった。

最後になったが、協働のまちづくりとはどのようなものなのか、ここにおられる議員に一言で教えていただきたい。

野藤議員

多岐にわたる課題などを出していただいた。一応確認することが多いので、ここで即答は難しい。

委員

即答は不要。これは陳情でもない。したがって、皆から聞かれたところへ足を向けてほしいということをお願いしたい。いろいろな意見が出た。そこへ行ってみてくれと言うしかないと思っている。

野藤議員

今日の内容は全て記録しているし、我々も回る。善処していきたい。予定時間が過ぎているのだが。

委員

一つ困りごとがある。これはほかの地域にもある問題ではないかと思うが、楽天モバイルがうちの町内に15メートルくらいのポールを立てて無線基地局を設置するので了解してくれという案内してきた。キヌヤの駐車場の一つに土地を借りて、そこから無線を出す。そのすぐ近くにお寺があるのだが、住職からこの基地局から電磁波が飛んで人体に影響があるのではということで、人家近くには設置

しないようにしてほしいという問題がある。こういうポールは長沢だけではなく、ほかの町内にもある問題ではないかと思うのだが、皆は聞いているか。15メートルのポールから出る電磁波が人体に影響するのかもわからないのだが。

委員

空き家に関して、先ほど配ってもらったチラシ、これが、人を入れようと思っても改装した家を見ないとなかなか入る人がいない。これは修理するからと言っても入らない。担当者と何度も話をしたのだが、今のままだと、台所の床がめくれて上へ上がれもしない。ほかは全部畳も障子も張りかえた。それをお客に見せても入らない。空き家バンクの補助金は人が入居して初めてお金がおおりる。最終的に補助金を出すのは、先に修理しようとして後で修理しようとして、人が入ってから補助金になる。

空き家バンク担当者が立ち会って、了解が得られれば先に工事して、入った時点で支払うという方向にさせていただいたらもっと入るのではと思う。なぜなら、雇用促進住宅が裏にあるのだが、あそこは出たらすぐきれいにしている。すぐ入れる。しかし空き家は、中にはきれいにしている人もいるが一般的には汚いまま見せる。契約した後に修理したものが納得できない場合には契約解除になるかもしれない。それではまずい。事前確認をしてから入居する、全ての契約を認めて払ってもらおうほうが、より人に入ってもらおうのが楽である。その辺を検討いただきたい。

野藤議員

海洋少年団のごみについて、防犯カメラの管理について、高齢者サロンについて、ごみステーションの管理、人口減少や空き家の活用、朝市への取り組み、SOSの活動などいろいろご説明いただいた。議員からこれらのことについて何かあれば。

道下議員

子どもたちの遊べる場所は大事で、つくろうと思ったら大変で、遊具はどんどん劣化していく。

委員

本来は地域協議会で、協議会事項としてまだ5番が残っている。約束していた3時になったので、これで一応終わったということで。

野藤議員

私も時間は気になっていたのだが、我々もどういう課題を承ったかを確認させていただこうと思った。議員からも何かあればと振ったのだが、一応地域協議会との意見交換会を終わりにしたい。承ったことは後日確認し、お返ししたいと思っているのでよろしく願います。

- 委員  
野藤議員  
委員  
柳楽議員  
委員  
上野議員  
委員  
委員  
野藤議員
- これは意見交換会だったのでは。  
はい。  
聞かれるだけだったので、そこが不満である。質問したことについて答えをいただきたい。よろしく願います。  
先ほど言われた「協働のまちづくりを一言で」だが、まさしく皆が言われていたようなSOSの取り組みが、地域でできることが協働のまちづくり、そういうことを進めるのが協働のまちづくりではないかと私自身は思っている。  
感謝する。  
大変勉強になった。私は旭町という大変過疎のところに住んでいる。弁当の配達もない地域でどうすればよいのかという相談があって行かせていただき、業者といろいろ話した。今の話を聞くと、市街地にも空き家などいろいろな課題があると勉強になった。これから力を発揮したい。  
各議員に願います。今出てきた意見は、あなた方が日常活動する上で、回っていればわかることだろうと思われる。今からの活動として各地区を回って住民に聞いてほしい。行政連絡員のところへ行けば大体のことはわかっているだろう。それをお願いしておく。  
この議事録はまた送ってもらえるのか。  
はい。今日いただいた発言に対するご返答をお返ししたい。

## 5. 地域協議会副会長終わりの挨拶

- 野藤議員  
副会長
- 進行がふなれで申しわけない。最後に地域協議会副会長から閉会のご挨拶をいただきたい。  
今日は貴重な時間を割いていただき、誠に感謝する。貴重な意見がたくさん出て、時間が押し押しの会になった。非常によいことであつたと思っている。なかなか議員と話をするのは難しい。どうしても陳情というか、お願いに偏ってしまった気がする。時間もない。これで挨拶を終わる。

## 6. 閉会

- 野藤議員  
三浦議員
- 最後に1点お知らせがある。  
先ほどお尋ねがあつた協働のまちづくりについて、これは個人的にお答えしたい。私は今日皆からご紹介いただいたような各地域の

活動、これはまさに協働、お互いに助け合い、お互いに応援し合う、これがまず一つの協働だと思っている。それからもう一つは、今日こうして地域協議会の方、市民の方々と議会とがこうして話す時間を持っていただいたように、行政、地域の方、議会、それぞれの役割をお互いが果たしながら一つのまちを目指して協働していく、これも協働の形だと思っているので、そうした場をこれから委員会としても議員としてもやっていきたい。

その上で、今度7月にはまだ市民一日議会というイベントを計画している。これはコロナ禍で議会からも地域井戸端会などが開催できない中、逆に市民の方に議場に来ていただき、日ごろ思われていることを議員全員で伺おうという場として、企画したものである。6月9日が申し込み締め切りで、現在9名の応募をいただいている。10名が定員であと1名枠がある。いま一度皆にご案内させていただき、今日お話しいただいたこともそうだが、ご意見があればぜひご参加いただければ。

野藤議員

以上をもって浜田地域協議会と議会との意見交換会を閉会する。

[ 15時 3分 閉議 ]